

第8回日本小児耳鼻咽喉科学会議事録 理事会

日 時：平成25年6月20日（木）午前7時
30分～8時20分

場 所：前橋テルサ9階

出席者：氷見(理事長), 荒川, 小林, 坂田,
阪本, 鈴鹿, 鈴木, 高瀬, 長井, 西
崎, 春名, 増田, 峯田, 守本, 山岨
(理事), 大越, 佐野(監事), 市村,
川城, 田中(顧問), 有本, 香山,
新鍋, 滝沢, 深美(幹事)(50音順,
敬称略)

(1) 氷見徹夫理事長挨拶

氷見理事長より, 本大会開催にあたって挨拶が述べられた。今年は役員改選の年になり, 来年は新たな形でスタートすることになると話された。

(2) 荒川浩一会長挨拶

荒川浩一第8回会長より, 開催にあたっての協力・支援に対する謝意が述べられた。

(3) 平成24年度事業報告(庶務:守本理事)

[平成24年5月1日～平成25年4月30日]

- 1) 第7回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成24年6月21日～22日の2日間, 岡山全日空ホテルにおいて西崎和則会長のもとに開催した。
- 2) 第10回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成27年に信州大学耳鼻咽喉科 宇佐美真一会長のもとに開催することが決定した。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第33巻2号, 3号, および第34巻1号を刊行した。
- 4) 小児慢性特定疾患にかかる研究班会議に出席した。
- 5) 理事会および評議員会を平成24年6月21日に開催した。
- 6) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席した。

7) 小児耳鼻咽喉科学会の役員改選を行った。

8) 急性中耳炎ガイドラインの改訂, 滲出性中耳炎ガイドラインの作成に委員として協力した。

9) 庶務報告:平成25年6月14日現在

名誉会員2名

正会員1079名

(前年度 正会員1099名)

団体会員10名

購読会員6名

寄贈会員5名

(4) 平成24年度決算報告(会計:小林理事)

小林会計担当理事より, 決算報告, 資産の説明があった。

(5) 会計監査報告(監事:大越, 佐野監事)

平成25年6月8日に小宮山印刷において監査が行われ, 適正であったことが報告された。

(6) 平成25年度事業計画(案)(庶務:守本理事)

[平成25年5月1日～平成26年4月30日]

- 1) 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成25年6月21日～22日の2日間, 群馬大学小児科荒川浩一会長のもとに開催する。
- 2) 第9回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成26年に浜松医科大学耳鼻咽喉科峯田周幸会長のもとに開催に向け準備する。会期は平成26年6月6日～7日, 会場は浜松市 浜松コンgresセンターである。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第34巻2号, 3号, および第35巻1号を刊行する。
- 4) 理事会および評議員会を平成25年6月20日に開催する。

- 5) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席する。
- 6) ホームページの維持, 充実をはかる。
- 7) 乳児血管腫に対するプロプラノロールの早期認可要望書を提出する。
- 8) 小児慢性特定疾患の見直しに協力する。
- 9) 小児外科系学会関連の協議会に出席する。
- 10) 急性中耳炎ガイドラインの改訂, 滲出性中耳炎ガイドラインの作成に委員として協力する。
- 11) 次年度役員改選にむけて準備する。
- (7) 平成25年度予算(案)(会計:小林理事)
平成25年度予算案について報告があり承認された。
- (8) 各種委員会報告:
- 1) 役員の改選
次回理事会で役員の改選があり, 選挙管理委員長として深美幹事が推薦された。他2名の委員については後日委嘱されることとなった。
- 2) 学会誌編集委員会報告(委員長:鈴木理事)
昨年12月末に会誌がすべて電子ジャーナル化したことが報告された。
今後会誌の冊子体のあり方について委員会で検討していくこととなった。
- 3) ホームページ委員会(委員長:坂田理事)
ホームページの全面リニューアルについて, 委託予定業者4社の見積もりが呈示され, 検討された。
- 4) 用語委員会
特に報告事項なし。
- 5) 保険医療委員会(委員長:峯田理事)
プロプラノロールの乳児血管腫への保険適応拡大および乳児用製剤の早期開発への要望書を日本耳鼻咽喉科学会
- 保険医療委員会に提出したことが報告された。
- 氷見理事長から本学会からも厚労大臣に要望書を提出する予定であると述べられた。
- 6) 会則改訂委員会(委員長:西崎理事)
特に報告なし。
- (9) アドホック委員会
氷見理事長から報告事項は特になかったことが報告された。来年の理事会・評議員会においては委員会の見直しを考えていると述べられた。
- (10) 評議員の辞退
愛媛大の暁清文先生, 東京医科歯科大の喜多村健先生が評議員を辞退されたことについて, 承認された。
- (11) 評議員の推薦
高知大の兵頭政光先生, 大阪府立母子保健総合医療センターの西村洋先生が評議員に推薦され, 承認された。
- (12) その他
鎮静中の小児のMRI撮像時のトラブルの件
撮像時の鎮静下での呼吸トラブルが散見されており, 小児科学会, 小児放射線学会, 小児麻酔科学会からの共同提言という形で資料が届いている。耳鼻科医も鎮静をかけてMRIを撮像する際に呼吸障害が生じうる危険性を認識しておく必要があると報告された。本学会からも日本耳鼻咽喉科学会に報告し, どのように対応するのかを協議していただくと述べられた。
- (13) 協議事項(氷見理事長)
- 1) 学会開催校が購入する抄録集の価格の件
現行の価格が高すぎるとの指摘があり, 送料を含め1100円との提案があり, 承認された。

2) 評議員の推薦方法の件

評議員推薦の明確な記載がない。今後、推薦方法について検討していくと述べられた。

3) 風疹流行の件

田中顧問より最近、風疹が流行しているが、本学会でも介入した方がよいのではとの意見があった。荒川理事より1万人以上流行っていて、先天性風疹症候群も何名か発症していると報告があった。氷見理事長から今後本学会も情報収集していくと述べられた。

(14) 第11回総会・学術講演会の会長選出の件

氷見理事長より徳島大学耳鼻咽喉科武田憲昭教授が推薦され、承認された。

また、会長選出に関して、事前に理事からの無記名での推薦など今後検討していきたいと述べられた。

(15) 第9回総会・学術講演会 峯田周幸会長ご挨拶

峯田周幸次期会長から挨拶があり、ESPOと同じ週となるが来年6月6日～7日を予定しており、大勢の参加を期待していると述べられた。

(16) 第10回総会・学術講演会について

氷見理事長より会期は未定であるが、開催地は軽井沢を予定していると述べられた。

(17) 会費未払いについて

氷見理事長より本学会の規定では3年間未納で退会となっており、未納期間も学会誌を郵送しているが、今後未納者に対する対応を検討していくと述べられた。

理事長：氷見 徹夫
 庶務担当：守本 倫子
 幹事：有本友季子
 香山智佳子
 新鍋 晶浩
 (文責) 深美 悟

第8回日本小児耳鼻咽喉科学会議事録 評議員会

日時：平成25年6月20日(木)午前8時
 30分～9時20分

場所：前橋テルサ8階

出席者：(50音順、敬称略)

氷見(理事長)、荒川、小林、坂田、阪本、鈴鹿、鈴木、高瀬、長井、中川、西崎、春名、増田、峯田、守本、山嵜(理事)、大越、佐野(監事)、市村、川城、田中(顧問)、愛場、飯野、井口、伊藤(真)、小河原、奥中、工藤、阪上、笹村、佐藤、竹内(万)、武田、千田(い)、千田(勝)、内藤、仲野、二藤、林、

益田、三輪、望月(高)、横山、余田(評議員)、有本、香山、新鍋、滝沢、深美(幹事)

(1) 氷見徹夫理事長ご挨拶

氷見理事長より本大会開催にあたっての挨拶が述べられた。

(2) 荒川浩一会長ご挨拶

荒川浩一第8回会長より協力・支援に対する謝意が述べられた。

(3) 平成24年度事業報告(庶務：守本理事)

[平成24年5月1日～平成25年4月30日]

1) 第7回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成24年6月21日～

22日の2日間、岡山全日空ホテルにおいて西崎和則会長のもとに開催した。

- 2) 第10回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成27年に信州大学耳鼻咽喉科 宇佐美真一会長のもとに開催することが決定した。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第33巻2号, 3号, および第34巻1号を刊行した。
- 4) 小児慢性特定疾患にかかる研究班会議に出席した。
- 5) 理事会および評議員会を平成24年6月21日に開催した。
- 6) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席した。
- 7) 小児耳鼻咽喉科学会の役員改選を行った。
- 8) 急性中耳炎ガイドラインの改訂, 滲出性中耳炎ガイドラインの作成に委員として協力した。
- 9) 庶務報告:平成25年6月14日現在
名誉会員2名
正会員1079名(前年度 正会員1099名)
団体会員10名
購読会員6名
寄贈会員5名
- (4) 平成24年度決算報告(会計:小林理事)
小林会計担当理事より決算報告, 資産の説明があった。
- (5) 会計監査報告(監事:大越, 佐野監事)
平成25年6月8日に小宮山印刷において監査が行われ, 適正であったことが報告された。
- (6) 平成25年度事業計画(案)(庶務:守本理事)

[平成25年5月1日~平成26年4月30日]

- 1) 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成25年6月21日~

22日の2日間、群馬大学小児科荒川浩一会長のもとに開催する。

- 2) 第9回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成26年に浜松医科大学耳鼻咽喉科峯田周幸会長のもとに開催に向け準備する。会期は平成26年6月6日~7日, 会場は浜松市 浜松コンgresセンターである。
- 3) 日本小児耳鼻咽喉科学会誌第34巻2号, 3号, および第35巻1号を刊行する。
- 4) 理事会および評議員会を平成25年6月20日に開催する。
- 5) 日本耳鼻咽喉科学会主宰の関連する学会懇談会に出席する。
- 6) ホームページの維持, 充実をはかる。
- 7) 乳児血管腫に対するプロプラノロールの早期認可要望書を提出する。
- 8) 小児慢性特定疾患の見直しに協力する。
- 9) 小児外科系学会関連の協議会に出席する。
- 10) 急性中耳炎ガイドラインの改訂, 滲出性中耳炎ガイドラインの作成に委員として協力する。
- 11) 次年度役員改選にむけて準備する。
- (7) 平成25年度予算(案)(会計:小林理事)
平成25年度予算案について報告があり, 承認された。
- (8) 各種委員会報告
 - 1) 役員の改選
次回理事会で役員の改選があり, 選挙管理委員長として深美幹事が推薦された。他2名の委員については後日委嘱されることとなった。
 - 2) 学会誌編集委員会報告(委員長:鈴木理事)
昨年12月末に会誌をすべて電子ジャーナル化したと報告された。

- 3) ホームページ委員会（委員長：坂田理事）
4業者に見積もりプレゼンテーションをおこなった結果、1社と3年契約を行い全面リニューアルを検討中であると報告された。
- 4) 用語委員会
特に報告なし。
- 5) 保険医療委員会（委員長：峯田理事）
プロプラノロールの乳児血管腫への保険適応拡大および早期開発への要望書を日本耳鼻咽喉科学会保険医療委員会に提出したことが報告された。さらに本学会からも厚労大臣に要望書を提出する旨が説明された。
- 6) 会則改訂委員会
特に報告なし。
- (9) アドホック委員会
特に報告なし。
- (10) その他（氷見理事長）
- 1) 鎮静中の小児のMRI撮像時のトラブルの件
撮像時の鎮静下での呼吸トラブルが散見されており、小児科学会、小児放射線学会、小児麻酔学会からの共同提言という形で資料が届いている。耳鼻科医も鎮静をかけてMRIを撮像する際に呼吸障害が生じうる危険性を認識しておく必要があると報告された。本学会からも日本耳鼻咽喉科学会に報告し、どのように対応するのかを協議していただくと述べられた。
- 2) 会費の未払い問題
氷見理事長より今後未納者に対する対応を検討していくと述べられた。
- (11) 協議事項
- 1) 学会開催校が購入する抄録集の価格について
現行の価格が高すぎるとの指摘があり、送料を含め1100円との提案があり、承認された。
- 2) 評議員の推薦、交代の件
退会が暁清文先生（愛媛大学耳鼻咽喉科）、喜多村健先生（東京医科歯科大学耳鼻咽喉科）が評議員を辞退され、承認された。
兵頭政光先生（高知大学耳鼻咽喉科）、西村洋先生（大阪府立母子保健総合医療センター耳鼻咽喉科）が評議員に推薦され、承認された。
- (12) 第11回総会・学術講演会の会長選出の件
氷見理事長より徳島大学耳鼻咽喉科の武田憲昭教授が推薦され、承認された。
- (13) 第9回総会・学術講演会峯田周幸会長のご挨拶
峯田周幸次期会長から挨拶があり、ESPOと同じ週となるが来年6月6日～7日を予定しており、大勢の参加を期待していると述べられた。
- (14) 第10回総会・学術講演会について
氷見理事長より会期は未定であるが、開催地は軽井沢を予定していると述べられた。
- 理事長：氷見 徹夫
庶務担当：守本 倫子
幹事：有本友季子
香山智佳子
新鍋 晶浩
(文責) 深美 悟